

# 地方創生関係交付金等の状況一覧

		2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	
福山市総合戦略		2015年10月 総合戦略策定	総合戦略の推進(期間:2015年度~2019年度)				
地方創生 関係交付金	地方創生先行型 (基礎交付分)	(事業完了)					
	地方創生先行型 (上乗せ交付分)	(事業完了)					
	地方創生加速化交付金		(事業完了)				
	地方創生 推進交付金			実施中 資料:2-2 <b>だれもが挑戦できるまちづくり</b> ○ 福山ビジネスサポートセンターFuku-Biz運営事業 ○ ものづくり人材育成事業 など			
				実施中 資料:2-3 <b>地域資源を活用したまちの魅力・活力創出事業</b> ○ 備後圏域デニムプロジェクト事業 ○ 水産物ブランド化推進事業 など			
				実施中 資料:2-4 <b>女性キャリアデザイン支援事業</b> ○ 駅前女子カフェ運営事業 ○ 在宅ワーク就業支援事業 など			
			実施中 資料:2-5 <b>プロフェッショナル人材活用及び 産学官連携による人材スキルアップ事業</b> ○ 自動走行実証実験 ○ 高度専門人材の活用(戦略推進マネージャー) など				
			実施中 資料:2-6 <b>備後圏域魅力ブラッシュアップ事業</b> ○ 備後圏域HPの情報発信強化 ○ 地域資源ぶどう(ワイン)による魅力創出事業 など				
					申請中 資料:3-2 <b>2020に向けた瀬戸内を代表する観光地化事業</b> ~2020年度		
地方創生 拠点整備交付金			事業完了 資料:2-7 <b>水呑交流館整備事業</b>				
				事業完了 資料:2-7 <b>ふくやま美術館茶室改修工事</b>			
まち・ひと・しごと創生寄附活用事業 (企業版ふるさと納税活用事業)				実施中 資料:2-8 <b>夢・希望の実現による 福山未来づくりプロジェクト</b> ○ ふくやま未来づくり100人委員会事業 ○ びんご圏域連携グローバル人材育成事業 など			

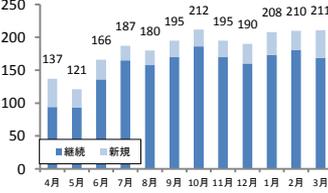
## 地方創生推進交付金を活用した事業の状況

1	だれもが挑戦できるまちづくり	事業分野	しごと創生・中小企業の生産性向上	総事業費 (内交付金)	1年目 2016年度	2年目 2017年度	3年目 2018年度
概要	中小企業を支援するビジネスコンサルティング施設を開設し、企業、行政、金融機関、各種研究を行う大学等が連携して人材確保、製品の付加価値化、新商品開発、販路開拓、創業等といった観点から支援を行う。また、地域経済の活性化と実践的な技術を身につけた即戦力となる人材の育成に取り組み、福山市の更なる発展を担う人材を育成する。				決算 79百万円 (25百万円)	決算見込み 97百万円 (48百万円)	予算 114百万円 (50百万円)

## 主な事業

## 福山ビジネスサポートセンターFuku-Biz運営事業（事業費：57百万円）

ビジネスセンスに優れ熱意のある専門家によるビジネスコンサルタントを通し、売上向上・創業支援に重点をおいた経営相談により、圏域事業者の「稼ぐ力」を飛躍的に高める。

2017年度の主な取組	成果	課題																																																				
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 様々な事業者や創業を希望する方からの相談への助言</li> <li>・新商品・新サービスの開発</li> <li>・販路拡大や集客増加</li> <li>・PR、情報発信の強化</li> <li>・売上アップや創業支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2017年度相談件数 2,212件 内、新規相談件数 357件</li> <li>○ 2017年度創業件数 6件</li> <li>○ 空き物件対策、起業家の創出、創業支援と全国共通の課題を、多面的に解決できるモデルの構築</li> <li>○ Fuku-Bizや事業者のメディアへの掲載（運営開始から1年で300件以上）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域にチャレンジの連鎖を生むための創業しやすい環境づくり</li> </ul>																																																				
	 <p>【Fuku-Bizでの企業からの相談】</p>	 <p>【2017年度相談件数】</p> <table border="1"> <caption>2017年度相談件数推移</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>継続</th> <th>新規</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>137</td><td>0</td><td>137</td></tr> <tr><td>5月</td><td>121</td><td>0</td><td>121</td></tr> <tr><td>6月</td><td>166</td><td>0</td><td>166</td></tr> <tr><td>7月</td><td>187</td><td>0</td><td>187</td></tr> <tr><td>8月</td><td>180</td><td>0</td><td>180</td></tr> <tr><td>9月</td><td>195</td><td>0</td><td>195</td></tr> <tr><td>10月</td><td>212</td><td>0</td><td>212</td></tr> <tr><td>11月</td><td>195</td><td>0</td><td>195</td></tr> <tr><td>12月</td><td>190</td><td>0</td><td>190</td></tr> <tr><td>1月</td><td>208</td><td>0</td><td>208</td></tr> <tr><td>2月</td><td>210</td><td>0</td><td>210</td></tr> <tr><td>3月</td><td>211</td><td>0</td><td>211</td></tr> </tbody> </table>	月	継続	新規	合計	4月	137	0	137	5月	121	0	121	6月	166	0	166	7月	187	0	187	8月	180	0	180	9月	195	0	195	10月	212	0	212	11月	195	0	195	12月	190	0	190	1月	208	0	208	2月	210	0	210	3月	211	0	211
月	継続	新規	合計																																																			
4月	137	0	137																																																			
5月	121	0	121																																																			
6月	166	0	166																																																			
7月	187	0	187																																																			
8月	180	0	180																																																			
9月	195	0	195																																																			
10月	212	0	212																																																			
11月	195	0	195																																																			
12月	190	0	190																																																			
1月	208	0	208																																																			
2月	210	0	210																																																			
3月	211	0	211																																																			
		<p>今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ アドバイザーの増員を予定（ITアドバイザー、クリエイティブアドバイザー）</li> <li>○ 圏域市町の利用を促進するための出張相談</li> <li>○ 創業支援チームの結成による体制強化</li> </ul>																																																				

## ものづくり人材育成事業（事業費：3百万円）

ものづくりに関する研修、講演会、イベントを3つの柱（最先端・注目技術の動向、技術の学びなおし、ものづくりの啓発）で一体的に実施し、また、その情報発信のためのウェブサイト運営する。

2017年度の主な取組	成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ものづくり大学における講座やイベントの実施</li> <li>・先端技術の専門家の講演</li> <li>・製造業の実践的な講座</li> <li>・ものづくり体験イベント</li> <li>○ 「びんご産業支援サイト」の運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ものづくり大学での講座の開催数</li> <li>最先端・注目技術の動向 14回</li> <li>技術の学びなおし 24回</li> <li>ものづくりの啓発 11回</li> <li>○ 受講者満足度 98%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 講座の成果を、地域企業のIT利活用の促進や活用事例の創出につなげること</li> </ul>
	 <p>【学びなおし講座】</p>	 <p>【陶芸体験講座】</p>
		<p>今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人気講座の開催数の増加</li> <li>○ 講座を充実させるため、連携先機関を増やす（現在の連携先：ポリテックカレッジ福山、広島県産業振興機構、福山大学等）</li> </ul>

## その他の事業

○ その他関連9事業を実施。（中小企業や商店街の支援:4事業、ワークライフバランスの推進:1事業、人材育成:4事業）

地方創生推進交付金を活用した事業の状況

2	地域資源を活用したまちの魅力・活力創出事業	事業分野	まちづくり, まちの賑わいの創出	総事業費 (内交付金)	1年目 2016年度 決算 43百万円 (21百万円)	2年目 2017年度 決算見込み 61百万円 (22百万円)	3年目 2018年度 予算 59百万円 (29百万円)
概要	本市及び備後圏域の地域資源の魅力を高めるとともに、情報発信を強化することで、様々な産業や取組を更に発展させ、本市及び備後圏域全体の活力へと繋げていく。						

主な事業

備後圏域デニムプロジェクト事業（事業費：6百万円）

「備後圏域はデニムの産地」ということを広くPRすることで、備後圏域及びデニム関連事業者の知名度向上やデニムの認知を通じた圏域住民の地元への愛着の増加、また事業者の売り上げ増加や人材確保促進へと繋げる。

2017年度の主な取組	成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地元デニム生地を活用した商品化(国内の人気バッグブランド4者とマッチング)</li> <li>○ デニム認知度向上のための一般消費者参加型企画を実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・デニムに関する写真、イラスト等をコンテスト形式で公募</li> <li>・デニム製造企業を製造工程順に見学するデニムツアー</li> <li>・様々な視点で国産デニムについて語る講演会(デニム学会)</li> </ul> </li> <li>○ デニム製造工程の動画などを紹介するWebサイトを公開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新商品(バッグ)がECサイトのランキングで上位を独占し、初期生産本数が発売当日に完売</li> <li>○ メディアによる発信回数 延べ177回</li> <li>○ デニムツアー参加者数 28名</li> <li>○ 国産デニムへの理解度向上 デニムツアー「満足度」100% デニム学会「参考になった」100% (※アンケート結果)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ デニム産地を将来につなげるためのデニム関連企業の売上増加</li> </ul>
	 <p>【ブランドマッチングにより製作したバッグの一例】</p>	 <p>【デニムツアーで加工体験をする参加者】</p>
		<p>今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国産デニムの売上増加に向けた海外展示会への出展(ハイブランドの集まるミラノユニカ(伊)を予定)</li> </ul>

水産物ブランド化推進事業（事業費：5百万円）

備後圏域で水揚げされた水産物のブランド化を推進することにより、地魚の地産地消の推進や漁業者の所得向上を図る。

2017年度の主な取組	成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ガイドブックの配布</li> <li>○ 備後フィッシュフェスの開催</li> <li>○ 料理教室の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ガイドブック配布数 38,500冊 (4市の公立小学校139校の児童)</li> <li>○ 備後フィッシュフェス参加者数 約4,000人</li> <li>○ 料理教室実施回数 計8回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 飲食店等の民間事業者との連携による情報発信力の強化</li> </ul>
	 <p>【備後フィッシュガイドブック】</p>	 <p>【備後フィッシュフェス】</p>
		<p>今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「備後フィッシュが食べられる店」の認定や情報発信</li> </ul>

その他の事業

○ その他関連事業8事業を実施。(都市ブランド3事業, 情報発信2事業, 農林水産2事業, 観光1事業, )

## 地方創生推進交付金を活用した事業の状況

3	女性キャリアデザイン支援事業	事業分野	地方への人の流れ	総事業費 (内交付金)	1年目	2年目	3年目
					2016年度	2017年度	2018年度
概要	女性が社会へ出て活躍し、輝くイメージが持てるよう、「働く」「住む」をテーマにしたコンテンツを発信するためのポータルサイトや交流拠点施設を設置する。また、地場産業の現場を見学するツアーや、インターネットを中心とした在宅ワークの普及に取り組み、女性が地元で働く意識を醸成する。				決算 12百万円 (6百万円)	決算見込み 42百万円 (21百万円)	予算 46百万円 (23百万円)

## 主な事業

## 駅前女子カフェ運営事業（事業費：19百万円）

駅前女子カフェにおいて、各種セミナー等を実施し、駅前の交流拠点の周知及び女性のスキル向上を図る。また、働く女性をテーマにしたポータルサイトを開設し、交流拠点以外での情報発信を強化する。

## 2017年度の主な取組

- 駅前女子カフェにおけるセミナーの実施
- 働く女性の応援サイト「BINGO WOMAN」の開設
- 地場産業の現場を見学するツアーの実施

## 成果

- 駅前女子カフェ利用者数 1,989人
- サマーツアー参加者数 26人
- 福祉の職場見学バスツアー参加者数 12人



【駅前女子カフェ セミナーの開催】



【働く女性の応援サイト「BINGO WOMAN」】

## 課題

- 女性の地元就職促進に向けた駅前女子カフェの機能強化

## 今後の取組

- 企業や学生とのコラボなどによる魅力的なイベントの実施
- 効果的な広報の実施

## 在宅ワーク就業支援事業（事業費：12百万円）

子育て等を契機に就業を中断した女性の未就業者を主な対象として、インターネットを利用した在宅ワーク（Web系在宅ワーク）を普及させ、その技術習得及び業務実施などを支援することで、女性の活躍を推進する。

## 2017年度の主な取組

- Web系在宅ワーク啓発セミナーの実施

- Web系在宅ワーク啓発セミナー参加者数 120人
- Web系在宅ワーカー育成数 56人（全3回講座受講者数）

## 成果



【Web系在宅ワーク啓発セミナー】



## 課題

- 企業や市民に対する在宅ワークの普及

## 今後の取組

- 企業の在宅ワーカー活用に向けたワーカークラブの設立

## その他の事業

- その他関連事業5事業を実施。（意識啓発関係3事業、女性の意見聴取1事業、女性活躍推進に関わる計画策定1事業）

## 地方創生推進交付金を活用した事業の状況

4	プロフェッショナル人材活用及び 産学官連携による人材スキルアップ事業	事業分野	移住促進と地方創生人材の確保・育成など	総事業費 (内交付金)	1年目 2017年度	2年目 2018年度	3年目 2019年度
概要	専門性の高い人材を、地域外から産学官などへ招聘することで、新たなスキルやノウハウを習得するとともに、大学をより活用し、その専門性を本市に定着させ、高いスキルを持った人材を地域で育成できる体制を構築し、自立した強い経済基盤を確立する。				決算見込み 5百万円 (3百万円)	予算 84百万円 (37百万円)	実施計画 63百万円 (32百万円)

## 主な事業

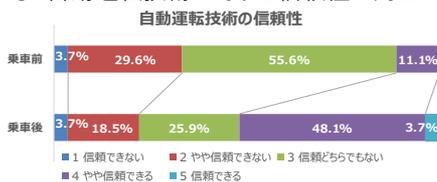
## 自動走行実証実験（事業費：4百万円）

高齢者の新たな移動手段として、自動走行技術の社会的受容性を高めるとともに、福山大学との連携による次世代をけん引する人材の育成や将来性の高い新産業の基盤づくりに向けた機運を醸成する。

## 2017年度の主な取組

- 高齢者外出支援事業を実施している地域と連携し、ドライバー不足などの課題解決の手法としての可能性を検証
- 小学生を対象とした自動走行技術を見学・体験する場の提供
- 市内大学や商工会議所との共催による自動走行に関するセミナーの実施

- 自動運転技術に対する信頼性の向上



- 先端技術に触れる機会の提供

## 成果



【日吉台学区内での自動走行実証実験】

## 課題

- 市内企業や大学との連携をより強化することで次世代をけん引する人材の育成

## 今後の取組

- 新産業の基盤づくりに向けた機運を引き続き醸成

## 高度専門人材の活用（戦略推進マネージャー）（事業費：1百万円）

専門的な知識を有する人材を首都圏等から招聘し、人口減少対策に取り組んでもらう。地方への人材還流を図るとともに、高度専門人材と市内職員との交流を通して、職員の思考・姿勢の変革を図る。

## 2017年度の主な取組

- 副業限定で高い専門性を有する人材を募集（応募人数：395名）
- その内、5名を「戦略推進マネージャー」として委嘱
- 市の現状把握

- 各種メディアに取り上げられ、市の知名度の向上や取組の内容の発信につながった。（テレビ：1回 新聞：25回）
- 優秀な人材の確保をしたい行政、副業を推進する企業、自身のスキルやノウハウを地域づくりに役立てたい人材の3者にメリットのある体制の構築

## 成果



【戦略推進マネージャーの委嘱式】



【視察と既存施策の確認】

## 課題

- 民間企業のノウハウを取り入れるなど、これまでの行政の発想にとらわれない人口減少社会への対応

## 今後の取組

- 人口減少対策に向けた施策・事業の構築と遂行
- 女性活躍や中小企業のイノベーション創出などの分野での政策に関する助言

## その他の事業

- リノベーションまちづくり推進事業（2018年度より交付金充当事業の予定）

# 地方創生推進交付金を活用した事業の取組状況

5	備後圏域の魅力ブラッシュアップ事業	事業分野	まちづくり, 広域的視点		1年目 2017年度	2年目 2018年度	3年目 2019年度
概要	本市及び備後圏域の地域資源の魅力を高めるとともに、情報発信を強化することで、様々な産業や取組を更に発展させ、本市及び備後圏域全体の活力へと繋げていく。			総事業費 (内交付金)	決算見込み 9百万円 (4百万円)	予算 13百万円 (7百万円)	実施計画 11百万円 (5百万円)

## 主な事業

### 備後圏域HPの情報発信強化 (事業費: 4百万円)

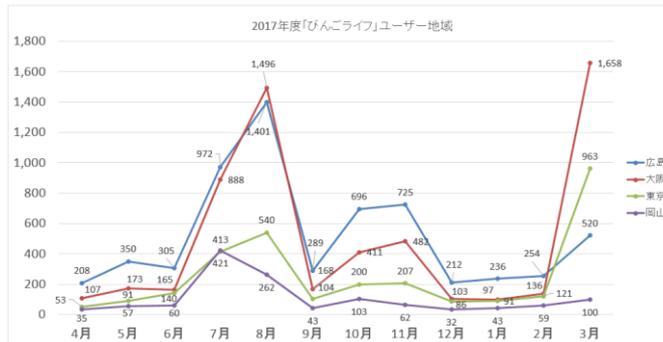
「備後圏域の暮らしやすさ」を圏域外の大学等に進学した圏域出身者に伝えるため、開設したウェブサイト「びんごライフ」に、地元企業やその企業で活躍している若手社員等を掲載することで、学生のUターンを促すもの。

#### 2017年度の主な取組

- 地元企業8社と若手社員8人の掲載内容の充実
- 各市町の観光スポット等24か所を追加
- ショートムービー2本作成
- サイトへ誘導するための仕組
  - ・SNSの開設
  - ・ウェブ広告、啓発ツール

#### 成果

- 年間セッション数(アクセス数) 24,174件



【びんごライフの掲載記事を拡充】

#### 課題

- 更なるコンテンツの拡充
- SNSを活用した効果的な情報発信
- 特に大阪や東京等にいる対象者への周知によりU・Iターンを促進する。

#### 今後の取組

圏域の魅力を伝えるコンテンツの拡充として、“花”を主題とした掲載内容の作成や、学生と企業をつなぐ仕組みの充実

### 地域資源ぶどう(ワイン)による魅力創出事業 (事業費: 5百万円)

備後圏域共通の地域資源の一つであるぶどうを活用したワインをPRすることで、ワイン文化を醸成するとともに、圏域の農産物の活用を促進し、圏域の知名度向上や新たな商品開発、消費拡大等につなげていく。

#### 2017年度の主な取組

- ワイン列車実施
- 備後ワインフォーラムの実施
- ワインオーナークラブ調査・研究等事業
- ワイン関連協議会設立

#### 成果

- 2社の事業者が特区を活用して酒類製造免許を取得(ワイン1社, リキュール1社)
- ワイン列車 参加者72名
- 福山でワイン製品が4品製造、販売
- 協議会設立に向けた準備会の設置



【備後福山で販売されたワイン4製品】



【備後ワインフォーラムの開催】

#### 課題

- ワイン事業の自立自走

#### 今後の取組

2018年5月に設立したワイン振興協議会において、産学官民が連携して情報発信や原材料の確保に取り組む。

# 地方創生拠点整備交付金を活用した事業の状況

6	水呑交流館整備事業	事業分野	まちづくり, 小さな拠点	総事業費 (内交付金)	2016年度	2017年度	2018年度
概要	「福山市地域交流施設等再整備基本方針」に基づき、「地域を創る」を基理念に、地域住民の活動を支える身近なまちづくりの拠点として、水呑交流館を整備するもの。				→繰越	258百万円 (119百万円)	

## 整備の状況

- 2018年(平成30年)5月7日から供用開始
- 機能を集約することで、効率的な運用が図れる施設となった。

## 成果

- 26団体のグループ・サークルが利用(2018年7月現在)
- 地域に開かれたスペースとして、交流スペースを設け、多世代の交流が図れた。
- ユニバーサルデザインを導入し、だれにでも安心・快適な施設となった。



【水呑交流館外観】



【交流スペース】

## 課題

- 他世代交流による新たなまちづくり活動の創出
- 交流館を拠点とした、地域住民による自主的・自律的活動の促進

7	ふくやま美術館茶室改修工事	事業分野	まちづくり, まちの賑わい創出	総事業費 (内交付金)	2016年度	2017年度	2018年度
概要	ふくやま美術館内の茶室の改修工事を行い、貸館施設として新たに整備することにより、市における茶文化の振興を図るとともに、集客性を高めることで、文化・芸術を軸とした交流人口の拡大を図る。					24百万円 (12百万円)	

## 整備の状況

- 2018年(平成30年)4月から供用開始

## 成果

- ふくやま美術館特別展開催期間中の茶会実施 21回開催 2,117人参加(2018年6月現在)
- 団体による施設利用 5回実施 46人参加(2018年6月現在)
- ふくやま美術館の特別展に合わせての茶会実施により、特別展を観覧した人に対しても茶室の周知を行うことができた。また、茶室利用者の特別展への入館促進にも効果があった。



【改修前→改修後の茶室】



【茶室利用】

## 課題

- 茶文化と連動した特別展の開催
- 新たな利用者層の開拓
- 利用者への更なる周知方法や施設を活用した事業の展開の進め方

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）を活用した事業の状況

8	夢・希望の実現による福山未来づくりプロジェクト	総事業費 (内寄附金)	1年目 2017年度	2年目 2018年度	3年目 2019年度
概要	子どもや若者が自らの理想とするまちづくりの実現などを通して、ふるさと福山への愛着と誇りを醸成する。そして、希望する職業やチャレンジしたいと思える職種への就職等へとつなげることで、地元への定着率を高め、活力あるまちを実現するとともに、人口減少に歯止めをかける。		決算見込み 29百万円 (10百万円)	予算 25百万円 (10百万円)	地域再生計画 35百万円 (10百万円)

主な事業

ふくやま未来づくり100人委員会事業（事業費：15百万円）

幅広い世代の市民から100人を委員として選定。委員が自由に夢やアイデアを持ち寄り、30年後の未来を想像しながら部会に分かれて議論を深め、福山の未来図を完成させる。

2017年度の主な取組	成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ふくやま未来づくり100人委員会の開催(6回)</li> <li>○ 12部会に分かれての意見交換会や勉強会の開催</li> <li>○ 小学生が描く未来図の募集</li> <li>○ 中学校の未来づくり授業参観・意見交換</li> <li>○ 市民応援団と意見交換会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「幸せあふれる30年後の福山の未来図」の完成</li> <li>○ 小学生の未来図11作品の表彰(応募総数：163作品)</li> <li>○ 委員をはじめ多くの市民や企業、学校が福山の未来を主体的に考える機会となり、未来づくりへの機運が高まった。</li> <li>○ 委員自らが、学生の夢の応援や子どもの健全育成をめざす団体を立ち上げるなど、新たな地域活力が創出された。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「未来図」の実現に向け、新たな価値を生む持続可能な活動につなげること</li> </ul>
	 <p>【100人委員会でのワークショップ】</p>	 <p>【30年後の福山の未来図】</p>
		今後の取組
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 未来づくりに自ら取り組みたい意欲のある人が集う会合(「未来づくりミーティング」)を開催予定</li> </ul>

びんご圏域連携グローバル人材育成事業（事業費：3百万円※）※福山市負担分

備後圏域内の4大学が事業主体となり、自治体や地元企業と連携し、国際社会で活躍できる人材の育成に取り組み、持続可能な地域社会の発展に貢献できる人材を輩出する。

2017年度の主な取組	成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会人・大学生を対象とした国際経営理論や海外進出企業のケーススタディを学ぶ講義の開催</li> <li>○ 備後圏域内企業の海外事務所の訪問(講座の一環として訪問)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 講義の開催回数 15回 受講生45人</li> <li>○ 社会人の受講生が増加 2名→9名(2016年度→2017年度)</li> <li>○ 企業の海外事務所(タイ)の訪問者数 参加者13人</li> <li>○ 海外の事業所の生活に積極的な質問が出るなど、学生の海外事業に対する関心が高まった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 対象講座の学生の受講者数の減少</li> <li>○ 講座受講者や企業訪問者の地元定着率の追跡</li> </ul>
	 <p>【企業とのタイアップ講座】</p>	 <p>【企業の海外事務所訪問】</p>
		今後の取組
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学生に向けた講座周知の強化</li> <li>○ 講座内容を充実させるための検討</li> </ul>

その他の事業

○ その他4事業の実施(子どもや若者のチャレンジ支援:2事業, 子ども議会・高校生議会:2事業)※2017年度はその他事業への企業版ふるさと納税の寄附金充当無し